

使用済み切手を 県社福協に贈る

岐阜信金

岐阜信用金庫(岐阜市神田町)は20日、職員と顧客によるボランティア活動で集めた使用済み切手、ベルマーク、書き損じはがきを県社会福祉協議会に贈った。

1997年度から地域貢献の一環で毎年寄贈している。今年は切手4万168枚、ベルマーク2779枚、

はがき4枚を集めた。

岐阜市下奈良の県福祉・農業会館で寄贈式があり、岐阜信金の光崎修常務理事が「活動が地域の社会福祉の一助になれば」と話し、同協議会の小林政人常務理事に目録を手渡した。

切手とはがきは換金してボランティア活動振興基金助成事業の財源に充てるほか、ベルマークは意欲的に収集活動を行う県内小学校に寄贈する。(山本貴史)



小林政人常務理事(左)に目録を手渡す光崎修常務理事。岐阜市下奈良、県福祉・農業会館